Ota City Labor Union Paper

職友おおた

発行人：執行委員長　小林 克敏　／　発行元：太田市職労教育宣伝部

太田市職労

55
2023
31st.Aug

【野　球】太田市職労、関東大会準優勝　夏空の下交流図る

8月 17 日（木）～ 18 日（金）、「2023 年関東甲地区自治体職員等スポーツ大会野球大会（交流大会）」が東京都（あきる野市民球場、明治安田生命グリーンランド硬式野球場）にて開催され、太田市職労（太田市役所軟式野球部）が準優勝を果たした。

今大会は、自治労が組合員の交流を目的に開催するもので、全国大会と関東大会（交流大会）が女子バレーボールと交互に隔年で開催されている。今年は、12 月に女子バレーボールが和歌山県で全国大会が開催されることに伴い、野球は関東大会までの実施となる。今大会の出場チームは関東甲８地区の各都県予選を勝ち上がった代表（９単組）及び開催地代表枠（１単組）の合計 10 単組で、太田市職労は群馬県代表として出場。トーナメント方式による順位決定戦が行われた。

大会初日　“OTA City” 対 “OTA City”、完投劇で太田市職労に軍配上がる

17 日（木）、大会初日の初戦はさいたま市職労（埼玉県）と対戦。手堅く安打でつなぎ、各回コンスタントに得点を重ねる。投げては小向（社会福祉協議会）から清水（太田市勤労者福祉サービスセンター）の継投で相手に得点を与えず、８回には７－０のコールドゲームで試合を締めくくり次戦へ駒を進めた。

次戦は大田区職労(東京都)戦。３回表には先制点を許すも、同回裏には一挙４得点で逆転に成功。初戦同様に好打を重ねつつ、早川（危機管理室）や坪内（市民課）らの機動力で各回得点を後押しした。４回には再度得点を許すも、投手の宮下（スポーツ振興課）が気迫のピッチングで追加点を許さない。宮下は、最高気温 34 度を超す炎天下で双方ともに消耗が進む中、尻上がりに調子を上げ、７回８回には連続三振を奪い野手陣を盛り立てた。最終的には８－２で勝利。宮下の完投が光った。

強豪・松戸市職労戦　試合ペース奪うこと出来ず敗戦、連勝ならず

18 日（金）、準決勝は港区職員労働組合（東京都）戦。先発は監督兼選手の清水。安定感のある投球でイニングを消化し、一切相手を寄せ付けることなく完封を飾った。打っては前日同様、つなぐ野球でコンスタントに得点を重ねる。取りこぼすことなく追加点を重ね、５回裏には無死満塁の場面で四番・上原（市街地整備課）がレフト前へタイムリーヒットを放ち２得点したほか、主将・廣瀬（社会福祉協議会）によるセンターオーバーのサヨナラ弾も飛び出し、この回一挙６得点で相手をノックアウト。10－０の５回コールドで決勝戦に駒を進めた。

決勝戦は自治労松戸市職員組合（千葉県）戦。松戸市職については昨年９月に開催された全国大会では延長 10 回、2 時間 50 分の激闘の末、史上初の３連覇がかかっていた松戸市職にサヨナラ勝ちで競り勝っていた。試合は１回裏、エンタイトル２ベースと死球で早々に満塁の窮地を迎え、相手の犠打で先制点を許す。３回裏にも追加点を許し、４回裏には相手のライト方向への３ランホームランと連打に捕まり７失点。終始有利に試合を進めた松戸市からペースを奪うことが出来ず、最終的には０－12 の５回コールドで敗戦。連勝はお預けとなった。

『（仮称）松風特別号 2023・2024』の写真撮影を行います

この度太田市役所職員労働組合、太田市行政管理公社職員労働組合の合同により「（仮称）松風特別号 2023・2024」を発行することとなりました。

つきましては、過日職場宛に通知させていただいたとおり職場毎の写真集を作成するにあたり、各職場毎に職員の集合写真の撮影を行いますので、お手数をおかけしますがご協力いただけますようお願いいたします。

※撮影日変更依頼のあった部署につきましては、QR コードにてご報告いただいたメールアドレス宛に変更後の撮影日程を送付させていただきましたので、ご確認ください。変更依頼のなかった部署につきましては当初日程のままとしております。

～ 編集後記 ～

ぐんま労福協 第１回尾瀬環境保護ボランティア体験学習会に参加して

▲尾瀬の景色。ガイド曰く、至仏山を仰ぐこのアングルが尾瀬のベストショットとのこと

▲事前学習としてガイドから説明を受ける

▲歩荷。麓から山小屋まで必要物資を運んでいる

▲木道脇に佇んでいた野生の熊

▲３日目。突如として雷雨発生！

▲開花を迎える草花と２日目に宿泊した山小屋（東電小屋）

▲ゴミ拾いの様子

▲尾瀬の景色。ゆったりと自然を楽しむことができる

こんにちは。教宣担当です。暑い日が続いていますが、体調は崩されていませんでしょうか。

私はこの度、７月 31 日～８月１日、ぐんま労福協が主催する「第１回尾瀬環境保護ボランティア体験学習会」に参加してまいりました。

本ボランティアは、群馬ほか３県にまたがり 2,000m 級の山々に囲まれた一大景勝地である尾瀬の山小屋に２泊３日で泊まり込み、自然散策をしながら尾瀬の自然とふれあい、清掃ほかボランティア活動を行うことで環境保全の重要性を考えていくきっかけづくりのために実施されるものです。当日のボランティア活動では、およそ 15 名の参加者と共に、主に尾瀬の木道近辺を中心にゴミ拾いによる清掃が行われました。また、木道をめぐりながらガイドから尾瀬の自然や地理のほか、管轄行政庁の運用、歴史や環境保全のための関係者による弛まぬ取り組みなど、多面的な角度からの解説がありました。途中、野生の熊に遭遇する事態や急な雷雨に襲われ湿原からの避難を余儀なくされ行程がストップするなどハプニングも起こりましたが、かえってむき出しの自然に触れて体感することができ、貴重な体験ができたと考えています。

２泊３日という短い時間でしたが、尾瀬の自然の素晴らしさを肌で感じることができたほか、環境保全の重要性について考える良い機会となりました。毎年６月頃がミズバショウの開花のピークとのことであり、観光地として最盛期となるそうです。皆様も足を運んでみてはいかがでしょうか。

tips!　ぐんま労福協とは…正式名称は一般社団法人 群馬県労働者福祉協議会。県内の労働団体・生活協同組合・事業団体等により構成され、太田市職労が所属する「自治労群馬県本部」も労働団体として参画している。ぐんま労福協では、構成団体や関係諸団体・協力団体と連携し、会員・組合員をはじめ未組織勤労者や高齢者・一般市民そして構成団体のニーズに応える「ライフサポート活動」を展開している。